

(4) 南部地域

■ 南部地域の将来像

海と山、豊かな自然の中で暮らせるまち



南部地域の地域づくりの目標

● 海と山に恵まれた自然と共生した市街地の形成

豊かな自然環境と共生した市街地の形成を図るとともに、海や山等の地域資源を活かした魅力あるまちづくりにより、地域の活力創出を図ります。

● 農業や漁業等の生業を活かした交流の促進

地域の産業基盤である農業や漁業等の生業環境の継続と活力創出に向け、農地や海・山林等の保全を図るとともに、地域間の交流による地域の活性化を目指します。

● 海・川・里山等からなる豊かな自然環境の保全

豊かな恵みや潤いを与える海や川、里山等の美しい自然環境を守り育て、次世代に継承していくため、地域との協働により適切な保全を図ります。

■ 地域づくりの方針

① 土地利用・市街地整備

- ◆ 藤生駅周辺や通津駅周辺では、日常生活を支える身近な商業・業務地の形成を図ります。
- ◆ 通津地区から由宇地域にかけての臨海部の工業地域では、多様な企業活動を支える環境の維持・増進を図るとともに、通津・由宇間での連携を促進し、本市の産業を支える一体的な工業拠点の形成を図ります。
- ◆ 中低層住宅や店舗等からなる一般住宅地では、生活道路や公園等の日常的な生活基盤施設の整備・改善を進めるとともに、安心して快適に暮らし続けることのできる住環境の保全・形成を図ります。
- ◆ 医療センター跡地では、市民が安心していきいきと暮らすことができるよう「福祉のまちづくり」を目指し、周辺地域の住環境や自然環境等に配慮した適切な土地利用の誘導を図ります。
- ◆ 藤生地区から通津地区にかけての漁港や周辺の集落では、漁港施設や集落環境の維持・増進を図りつつ、海や港を活かした地域間の交流の促進等により、雇用の場の創出や地産地消の増進等による地域の活性化を目指します。
- ◆ 市街地周辺に広がる田園地域では、無秩序な市街化を抑制し、優良な農地の保全による営農環境を維持するとともに、既存集落の居住環境の改善等による集落の活力維持を図ります。

- ◆ 遊休農地については、担い手の育成等により農地としての有効活用・機能維持を促すとともに農作業体験等の都市・農村交流の場として維持・活用を図り、農業環境の維持と活力創出を図ります。

②道路・交通環境

- ◆ 国道188号は、南部地域と麻里布・川下地域とを結ぶ幹線道路として整備等を図り、円滑な交通環境の形成を目指します。
- ◆ 岩国南バイパスの南伸による広域交通環境の改善を促進します。
- ◆ 生活利便性を向上させるため、地域幹線道路や地区幹線道路の整備を推進します。
- ◆ 生活道路のバリアフリー化等を進め、歩行者や自転車が安心して通行できる道路環境の改善を図ります。
- ◆ 藤生駅、通津駅では、駐輪場等の整備により、利便性の向上を図ります。



通津駅

③自然環境・都市環境

- ◆ 通津美ヶ浦では、瀬戸内海への眺望や浜辺と一体となった海辺のレクリエーションの場となる公園の維持・活用を図ります。
- ◆ 街区公園等の地域に身近な公園や緑地では、住民のニーズを踏まえながら再編・再生や適切な維持管理、活用方策について検討し、地域と協働した取り組みを進めます。
- ◆ 瀬戸内海沿岸では、自然海岸等の貴重な自然環境を保全するとともに、美しい海辺の景観を活かしたレクリエーション空間として活用を図ります。
- ◆ 通津川の自然環境の保全を図るとともに、河川敷等では、防災面に配慮しながら川の自然に親しめる空間の整備を促進し、川と集落が調和した潤いある景観形成を図ります。
- ◆ 背後の山や瀬戸内海の美しい自然環境と調和した建築・開発行為の誘導を図るとともに、周辺環境と調和した市街地景観の形成に努めます。

- ◆ 市街地周辺の山地・丘陵地は、林業基盤の維持・活用及び山林の適切な維持・管理により、貴重な自然環境の保全に努めます。また、市街地の潤いに資する貴重な緑として、市民や企業等と連携しながら適切に保全を図ります。
- ◆ 瀬戸内海の海を守り育てるため、地域と協働して里山を保全するとともに、環境学習・体験学習の場として活用を図ります。
- ◆ 河川等の自然環境への負荷を軽減させるとともに、衛生的で快適な生活環境を整えるため、公共下水道等の整備を推進します。



通津川

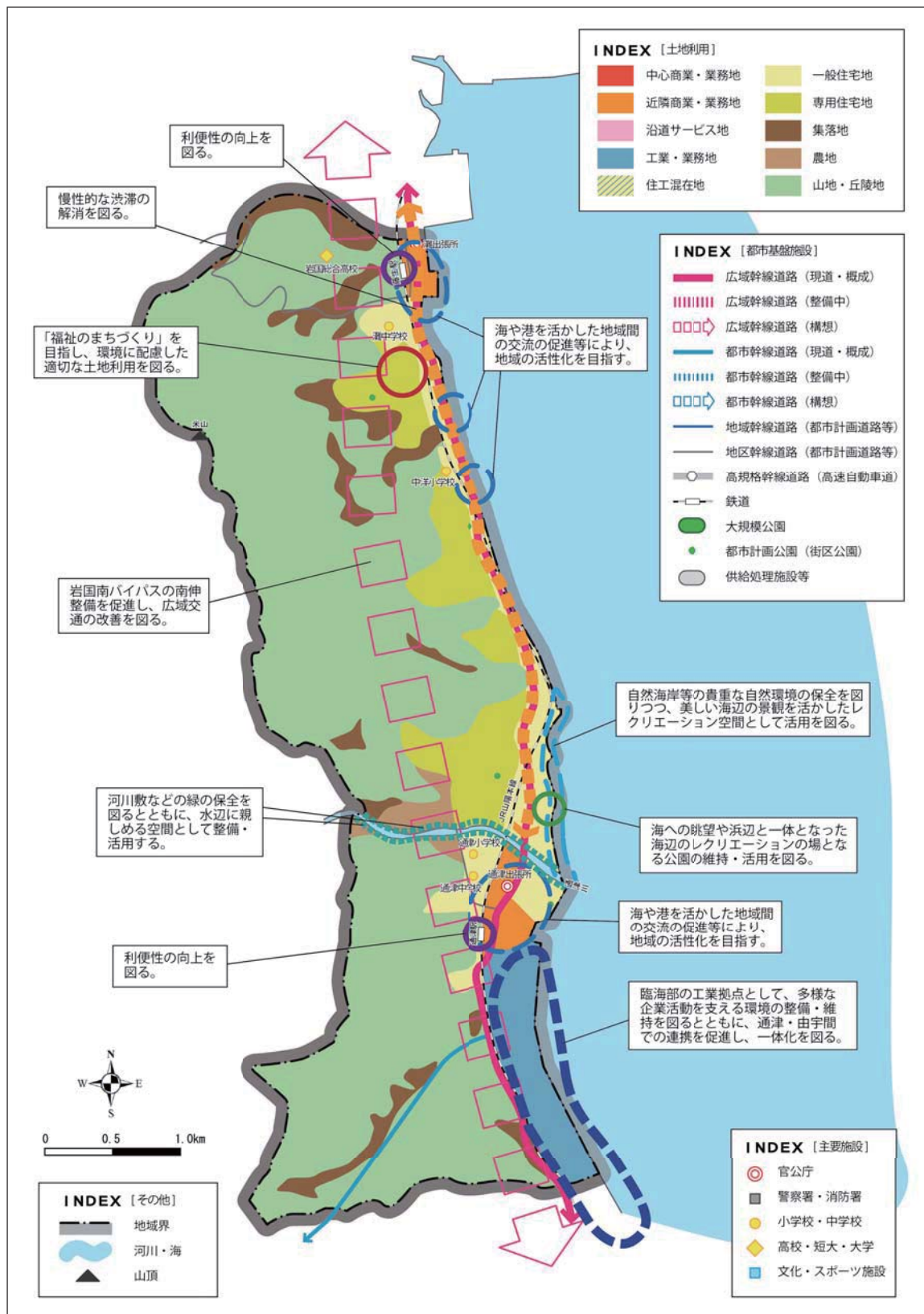


通津の自然海岸

④その他

- ◆ 藤生地区や通津地区等の瀬戸内海沿岸部に広がる市街地や集落、過去に災害が発生した地区等では、ハザードマップ等の防災情報の整備と周知を図るとともに、護岸整備等による自然災害対策の強化に努めます。
- ◆ 土砂崩壊や土砂流出等のおそれがある地区や過去に災害が発生した地区等では、ハザードマップ等の防災情報の整備と周知を図るとともに、被害防止のための対策の推進、開発の抑制等による自然災害対策の強化に努めます。

■南部地域の方針図



3 由宇地域

■由宇地域の将来像

瀬戸内海と里山の恵みを活かした
暮らしと交流のあるまち

由宇地域の地域づくりの目標

● 地域の生活を支える顔の見える魅力ある地域拠点の形成

由宇駅の交通結節機能の強化を図るとともに、駅周辺市街地への地域の生活を支える機能の集積を促進することにより、地域に親しまれる魅力ある地域拠点の形成を図ります。

● 自然の海や港を活かした交流の促進

美しい瀬戸内海を活かした海水浴や釣り等の自然体験型のレクリエーションや、港を活かした交流を促進することにより、自然とのふれあいや雇用の場の創出、地産地消の推進等による地域の活性化を目指します。

● 水と緑からなる豊かな自然と共生した市街地の形成

瀬戸内海や由宇川、里山等の豊かな自然に恵まれた本地域では、自然環境と共生した住環境を保全するとともに、自然景観に配慮したまとまりのある市街地の形成を図ります。

■地域づくりの方針

①土地利用・市街地整備

- ◆ 由宇駅周辺から由宇総合支所周辺にかけての由宇地域の中心的な役割を担う市街地では、地域生活を支える商業・業務機能や保健・医療・福祉等の多様な機能を集積することにより、地域拠点の形成と機能強化を図ります。
- ◆ 由宇駅周辺では、魅力ある商業地の形成を図り、地域のにぎわいの創出を図ります。
- ◆ 由宇地域から通津地区にかけての臨海部の工業地域では、多様な企業活動を支える環境の維持・増進を図るとともに、通津・由宇間での連携を促進し、本市の産業を支える一体的な工業拠点の形成を図ります。
- ◆ 中低層住宅や店舗等からなる一般住宅地では、生活道路や公園等の日常生活基盤施設の整備・改善を進めるとともに、安心して快適に暮らし続けることのできる住環境の保全・形成を図ります。
- ◆ 丘陵地等で開発された住宅地や新たに開発される住宅地では、背景となる山の緑や眼の前に広がる瀬戸内海からなる自然環境との調和に配慮し、建築協定や地区計画等を活用した良好な住環境の維持・形成を図ります。

- ◆ 神東地区から神代地区にかけての漁港や集落では、漁港施設や集落環境の維持・増進を図りつつ、海や港を活かした地域間の交流の促進等により、雇用の場の創出や地産地消の増進等による地域の活性化を目指します。
- ◆ 堀田地区の用途白地地域では、特定用途制限地域の指定等を検討するとともに、無秩序な開発を抑制しつつ、農地と住宅が共存できる環境づくりを進めます。
- ◆ 瀬戸内海沿岸や由宇川沿いに広がる田園地域では、無秩序な開発を抑制し、優良な農地の保全による営農環境を適切に維持するとともに、既存集落の居住環境の改善等による集落の活力維持を図ります。
- ◆ 遊休農地については、担い手の育成等により農地としての有効活用・機能維持を促すとともに農作業体験等の都市・農村交流の場として維持・活用を図り、農業環境の維持と活力創出を図ります。



由宇の商店街



由宇港

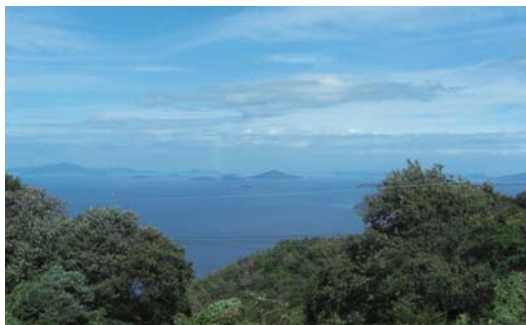
②道路・交通環境

- ◆ 国道188号は、由宇地域と岩国地域とを結ぶ幹線道路として整備等を図り、円滑な交通環境の形成を目指します。
- ◆ 岩国地域や他都市との連携を強化する主要な幹線道路として、岩国南バイパスの南伸を含む岩国柳井間地域高規格道路の整備に向けた取り組みを推進します。
- ◆ 生活利便性を向上させるため、地域幹線道路や地区幹線道路の整備を推進します。
- ◆ 生活道路のバリアフリー化等を進め、歩行者や自転車が安心して通行できる道路環境の改善を図ります。
- ◆ 由宇駅、神代駅では、駅前広場等の整備により、交通結節機能の強化及び利便性の向上を図ります。

③自然環境・都市環境

- ◆ 潮風公園みなとオアシスゆう周辺では、瀬戸内海を活かした地域交流拠点として、自然体験型の学習及びレクリエーション空間の整備・活用を図ります。
- ◆ 由宇グラウンド等の公園や広場は、地域に身近なスポーツ・レクリエーションの場として適切に維持・管理するとともに、地域と協働しながら有効活用を図ります。

- ◆ 街区公園等の地域に身近な公園や緑地では、住民のニーズを踏まえながら再編・再生や適切な維持管理、活用方策について検討し、地域と協働した取り組みを進めます。
- ◆ 瀬戸内海沿岸では、自然海岸等の貴重な自然環境を保全するとともに、美しい海辺の景観を活かしたレクリエーション空間として活用を図ります。
- ◆ 由宇川の自然環境の保全を図るとともに、河川敷等では、防災面に配慮しながら川の自然に親しめる空間の整備を促進し、川と市街地や集落が調和した美しい田園景観の保全・形成を図ります。
- ◆ 銭壺山では、緑豊かな自然環境を保全し、瀬戸内海と島々を望む視点場*となる空間の整備や身近な自然を楽しめるレクリエーションの場としての活用を図るとともに、利便性の向上に努めます。
- ◆ 背後の山や瀬戸内海の美しい自然環境と調和した建築・開発行為の誘導を図るとともに、周辺環境と調和した市街地景観の形成に努めます。
- ◆ 市街地周辺の山地・丘陵地は、林業基盤の維持・活用及び山林の適切な維持・管理により、貴重な自然環境の保全に努めます。また、市街地の潤いに資する貴重な緑として、市民や企業等と連携しながら適切に保全を図ります。
- ◆ 瀬戸内海の海を守り育てるため、地域と協働して里山を保全するとともに、環境学習・体験学習の場として活用を図ります。
- ◆ 河川等の自然環境への負荷を軽減させるとともに、衛生的で快適な生活環境を整えるため、公共下水道等の整備を推進します。



瀬戸内海の眺望



潮風公園みなとオアシスゆう

④その他

- ◆ 地域との協働のもと、温泉やプロ野球練習場等の地域の特色を活かした個性あるまちづくりに取り組むことにより、地域間での交流を促進し、地域活力の創出を図ります。
- ◆ 瀬戸内海沿岸部や由宇川沿いに広がる市街地や集落、過去に災害が発生した地区等では、ハザードマップ等の防災情報の整備と周知を図るとともに、護岸整備等による自然災害対策の強化に努めます。
- ◆ 土砂崩壊や土砂流出等のおそれがある地区や過去に災害が発生した地区等では、ハザードマップ等の防災情報の整備と周知を図るとともに、被害防止のための対策の推進、開発の抑制等による自然災害対策の強化に努めます。

■由宇地域の方針図

